

令和2年度4月 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来所者数 (人)	63											
1日あたり来所者数 (人)	4											
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	5											
ミーティングスペース 利用人数 (人)	22											
新着情報 (件)	27											
相談件数 (件)	4											

- ・昨年度3月14日から引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、センターでの5人程度以上での集まりなどでの使用はご遠慮いただいた。
- ・緊急事態宣言を受けてのセンター運営の体制は、4月9日～5月6日まで、窓口業務休止、電話・メール等での相談対応を火曜～金曜10～15時に行い、土曜日休館とした。(開館日18日)
- ・センター引越し作業及び再開準備を4月21日～5月1日に行い5月7日元の場所でオープン予定とした。
- ・上記について、Facebook、ホームページ、ブログ、メールマガジン、掲示などでお知らせした。

2. 主なセンター事業と業務

ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

- 「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。
- 地域で市民や団体が、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。
- 子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて
 - 子どもサポートプロジェクト センターと市民(プロジェクトメンバー)が協働し、困っている子どもに届く具体的な支援の取り組みを計画し実践する。
 - ・子ども向けチラシ作成「よっかいどうこどもたちのいばしょさがし」(裏 みんなの居場所あんない図 12000部作成)3月中に各小学校に児童全員への配布をお願いしたが、小学校の休校などもあり、実際の配布時期は各学校にお任せすることとした。
 - ・居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKUまある」4月は中止(会場のちよこっとサロンが中止)
- みんなで地域づくりのアイデアのたねを探し、みんなで育てよう！
 - 地域づくりサロン「まちにとけこむアート活動 ～だれでも参加できるアートでまちづくり～」
 - 昨年度3月1日より4月19日に延期していたが、4月7日中止を決定し申込者に連絡した。
- 災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めることについて
 - 「みんなで災害支援ネットワーク会議」を昨年度3月11日に企画し、今年度に延期とした。時期を見て改めて計画する。
- 市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。
 - ・夏休み小学生ボランティア体験 ➡ボランティア受け入れ団体募集を開始していたが、中止と判断した。
 - ・福祉施設 紹介・販売フェア「大きなテーブル」6月26日(金)27日(土)開催予定 ➡中止

昨年度、準備のための実行委員会を開催したが、参加団体の意向を聞いたうえで開催中止の判断をした。

ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・広報誌「みんな」24号（6月発行、ファンを増やそう）編集。
- ・Facebook を活用してイベントの告知（および中止等のお知らせ）、センターのオープン時間などのお知らせなどを行った（いいね！714）
- ・ホームページ トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。（テーマは、しあわせ）
- ・団体情報は、情報シートの様式と更新の流れの見直しを行い、団体にシートを送付した。（ホームページ団体紹介掲載 76 団体）
- ・メールマガジンを毎月月末に配信。センター開館時間及びご利用方法、センター事業についてのお知らせなどを掲載する。（4月末予定号は、5月連休明けにセンター運営体制が出されてから配信することとした）
- ・福島県からの避難者のために、県から届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。
- ・チラシ配架 センター移動につき、限られたスペースで配架を行った。

エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること 相談件数 上記

オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高める。

- ・「市民団体の寄付集め」

講師 関 雄さん（ファンドレイザー）

	日時	内容	参加※
1	6月6日(土) 13:30~16:30	寄付を集めるということとは？ 支援者の集め方、事例紹介	
2	7月4日(土) 13:00~15:30	ワーク 団体の状況を把握してできることを洗い出す *終了後 個別相談(4団体程度)	
	(7月11日)	(予備日)	

「思いを伝える広報を学ぼう」は、6月6日、7月18日開催を企画したが、開催中止とした。

○「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出する。

	日時	内容	参加※
1	9月3日(木)	①コラボ塾の開催主旨について ②「コラボ四街道」の概要 ③公開講座「地域の元気づくり」	
2	9月17日(木)	①四街道市の地域課題を出し合おう ②他市のコラボ事業の事例紹介	
3	10月1日(木)	①アイデアのたねを掘り起こし、事業を企画しよう ②「コラボ四街道」の申請書の書き方のポイント	
4	10月15日(木)	①企画提案書を書いてみよう ②プレゼンをしてみよう	
5	令和3年 1月21日(木)	本番直前プレプレゼン	

カ、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

- ・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せ（12人前後）に貸出しについて、施設利用状況に記載した通り、期間により人数制限を行い、4月9日からは窓口業務を休止とした。

令和2年度5月 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来所者数 (人)	63	77										
1日あたり来所者数 (人)	4	4										
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	5	5										
ミーティングスペース 利用人数 (人)	22	22										
新着情報 (件)	27	26										
相談件数 (件)	4	1										

- ・緊急事態宣言を受けてのセンター運営の体制として、4月9日～5月31日まで、窓口業務休止、電話・メール等での相談対応を火曜～金曜 10～15時に行い、土曜日休館とした。(開館日 20日)
- ・来所人数は、センター以外の場所で主催事業などに参加した人も含んでおり、5月は21人がオンラインでの会議・座談会への参加者も含んでいる。
- ・センター引っ越し作業及び再開準備を4月21日～5月1日に行い5月7日元の場所に戻った。
- ・上記について、Facebook、ホームページ、ブログ、メールマガジン、掲示などでお知らせした。

2. 主なセンター事業と業務

ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

○「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。

○地域で市民や団体が、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

子どもサポートプロジェクト センターと市民(プロジェクトメンバー)が協働し、困っている子どもに届く具体的な支援の取り組みを計画し実践する。

- ・子ども向けチラシ作成・配布「よつかいどうこどもたちのいばしょさがし」12000部3月中に各小学校に配布、小学校の休校などもあり、実際の配布時期は各学校にお任せすることとした。
- ・ミーティング5月12日(火)11人(オンライン6人含む)
 - 内容 1. 子ども食堂・居場所の状況、(子どもの居場所6団体のうち、プレーパークは部分開催、他は3月～5月は休止)
 - 2. 休校中感じていること、見えてきたこと(動きがつかれず団体のメンバーの気持ちが下がっている/外で遊んでいる子と出していない子の差が大きい。学校再開後、体力や人間関係を育めるかが心配)
 - 3. 必要な人への支援(動きがとれているので、ますます支援が必要な子が見えなくなった/さくらんぼルームでお母さんの悩みを聞いていた。オンラインで話す場があればいいのでは)
 - 4. その他(「いばしょさがし」のチラシはまだ届いていない。
- ・居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKUまある」5月中止

○みんなで地域づくりのアイデアのたねを探し、みんなで育てよう!

- ・ZOOM座談会(PlanA) ～今を語り、明日をつくろう～

準備 ZOOM マニュアル作成、希望者へ ZOOM 設定・接続サポート

内容 →記録を元に振り返り

①5月19日(火) 13:30~14:30 参加13人(座談会出席9人、スタッフ等4人)

大学生から70代の方まで、子どものこと、地域のこと、学校、勉強、高齢者支援など様々な視点から話題提供があった

内容:「今」から未来を創るために「前向きに進む」/当たり前だった「幸せ」に気づき、忙しくて気に留めなかったものに意識を向けた/実は不要であったものを整理できた/地域の人と繋がり続けるための新たなツールや情報発信を/大学生によるラジオ発信や安心安全な居場所の情報共有などのアイデア

②5月22日(金) 19:00~20:00 参加12人(座談会出席8人、スタッフ等4人)

夜間開催のため昼間は仕事をしている方も参加した

内容:高齢者福祉、障害者福祉への公的支援不足/子どものこころのケア/飲食店のテイクアウト需要クローズな社会に向かっている!/?/自粛生活で第3の居場所がなくなった

○災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めることについて

「みんなで災害支援ネットワーク会議」昨年度3月企画を延期。今年度、時期を見て改めて計画する。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

・福祉施設 紹介・販売フェア「大きなテーブル」6月26日(金)27日(土)開催予定 →中止

各団体の新型コロナの影響を聞き取った。約半数の団体は通常通りの活動をしているが、他はイベントなどの中止により収益が減ったり、就労移行の利用者の親会社の休業などの影響が出ている。

ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・広報誌「みんなで」24号(6月発行、ファンを増やそう)編集・発行。6月自治会回覧は難しい。
- ・Facebook を活用してイベントの告知(および中止等のお知らせ)、センターのオープン時間などのお知らせなどを行った(いいね!719)
- ・ホームページ トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。(テーマは、しあわせ)
- ・団体情報は、情報シートの様式と更新の流れの見直しを行い、団体にシートを送付した。(ホームページ団体紹介掲載76団体)
- ・メールマガジンを毎月月末に配信。センター開館時間及びご利用方法、センター事業についてのお知らせなどを掲載する。
- ・福島県からの避難者のために、県から届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。
- ・チラシ配架 5月7日から元の場所に戻り、チラシ・資料のラック見やすくレイアウトして配架した。

エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること 相談件数 上記

オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高める。

- ・「市民団体の寄付集め」 ※5月26日に緊急事態宣言が解除されたため、6月の講座は感染予防に注意しながら行えることとなった。

講師 関 雄さん(ファンドレイザー)

	日時	内容	参加※
1	6月20日(土) 13:30~16:30	寄付を集めるということとは? 支援者の集め方、事例紹介	

2	7月4日(土) 13:00~15:30	ワーク 団体の状況を把握しできることを洗い出す *終了後 個別相談(4団体程度)	
	(7月11日)	(予備日)	

・「思いを伝える広報を学ぼう」は、6月6日、7月18日開催を企画したが、開催中止とした。

○「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出する。

	日時	内容	参加※
1	9月3日(木)	①コラボ塾の開催主旨について ②「コラボ四街道」の概要 ③公開講座「地域の元気づくり」	
2	9月17日(木)	①四街道市の地域課題を出し合おう ②他市のコラボ事業の事例紹介	
3	10月1日(木)	①アイデアのたねを掘り起こし、事業を企画しよう ②「コラボ四街道」の申請書の書き方のポイント	
4	10月15日(木)	①企画提案書を書いてみよう ②プレゼンを試みよう	
5	令和3年 1月21日(木)	本番直前プレプレゼン	

カ、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せ(12人前後)に貸出すことについては、施設利用状況に記載した通り、5月中は窓口業務とともにミーティングスペースの外部への貸し出しは休止した。

令和2年度6月 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来所者数 (人)	63	77	155									
1日あたり来所者数 (人)	4	4	9									
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	5	5	15									
ミーティングスペース 利用人数 (人)	22	22	87									
新着情報 (件)	27	26	23									
相談件数 (件)	4	1	6									

・緊急事態宣言解除を受けて、センター運営の体制は、6月2日から火曜～金曜9時～17時は開館、土曜日休館とした。また、みんなのテーブルの打ち合わせ等の利用人数の上限は5人程度までとした。(開館日 通常オープン日17日+休館日に主催事業を実施した日1日) 来所人数は、センター以外の場所で主催事業などに参加した人、オンラインでの会議等への参加者も含んでいる。

・センターの運営体制について、Facebook、ホームページ、ブログ、メールマガジン、掲示などでお知らせした。

2. 主なセンター事業と業務

ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

○「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。

○地域で市民や団体が、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

子どもサポートプロジェクト

- ・子ども向けチラシ作成・配布「よつかいどうこどもたちのいばしょさがし」12000部3月中に各小学校に配布、小学校の休校などもあったため、学校からの配布は6月からとなった。
- ・ミーティング6月9日(火)8人(オンライン2人含む)
内容 6月15日から小中学校が通常日課(給食再開) 休校中の子どもの様子や居場所の状況など
- ・居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKUまある」6月中止
開催はボランティアスタッフミーティングで今後の衛生対策方針などを話してからとする。

○みんなで地域づくりのアイデアのたねを探し、みんなで育てよう!

- ・ZOOM座談会 ～今を語り、明日をつくろう～

6月のテーマは「地域のために思いを結ぶ」

※()参加者のうちのスタッフ等の人数

	日時	内容	参加※
Ⅱ 思 い を 結 ぶ	6月9日(火) 13:30～14:30	・地域にもっとコミュニケーションを!大学生が考えたラジオの発信 ・地域を越えたつながり、若葉区で家庭菜園を利用した集いの場づくり ・どんな時も子どもたちの学びを止めないアイデアは? ・子どもたちにソーシャルディスタンスを楽しく伝えるには?	9名 (4人)
	6月12日 19:00～20:00	・(飲食店経営)新しい形のデリバリーの形どんなものがよい? ・(大学生)ラジオ配信、市内視聴率100%を目指すには?	10人 (4人)

	<ul style="list-style-type: none"> ・(医療従事者) 高齢者に向けて介護予防体操を写真や動画で紹介したい ・(医療従事者) 高齢者が利用しやすい医療・介護マップを作成したい 	
--	---	--

参加者の感想

- ・今注目されているオンライン会議を経験できて楽しかった／日頃顔を合わせる事のない職業や地域の人を知り合い、同じテーマで意見交換できた／新しいつながりができて楽しかった／これからは縦割りではなく横のつながりで考えていきたい

今後のセンターの役割

- ・話題になった提案を形にするためのフォローおよびコラボ塾へのお誘い
- ・オンラインミーティング活用講座の開催
- ・参加者の意見や思いを他の業務の中で生かしていく

○災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めることについて

「みんなで災害支援ネットワーク会議」昨年度3月企画を延期。今年度、時期を見て改めて計画する。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

- ・福祉施設 紹介・販売フェア「大きなテーブル」 6月26日(金)27日(土) (開催予定) は中止

ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・広報誌「みんなで」24号(6月発行「ファンを増やそう」)編集・発行。自治会回覧は6-7月は難しい。
- ・Facebookでイベントの告知(および中止等)、センターのオープン時間などをお知らせした(いいね!722)
- ・ホームページ トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。(テーマは、しあわせ)
- ・団体情報は、情報シートの様式と更新の流れの見直しを行い、団体にシートを送付した。(ホームページ団体紹介掲載76団体)
- ・メールマガジンを毎月月末に配信。センター開館時間及びご利用方法、センター事業についてのお知らせなどを掲載する。
- ・福島県からの避難者のために、県から届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。

エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること 相談件数 上記

オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高める。

- ・「市民団体の寄付集め」 ※5月26日に緊急事態宣言が解除されたため、6月の講座は感染予防に注意しながら会議室で行った。

講師 関 雄さん(ファンドレイザー)

	日時	内容	参加※
1	6月20日(土) 13:30~16:30	寄付を集めるということとは? 支援者の集め方、事例紹介	17人 (7人)
2	7月4日(土) 13:00~15:30	ワークを中心に、団体の状況を把握しできることを洗い出す *終了後 個別相談(4団体程度) *希望する団体は、年度中、講師による伴走支援を受けることができる	

[参加者感想]

- 1日目 ・寄付集めのイメージがついた／共感を得ることが大切な理由がわかった。

○「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出する。

令和2年度「コラボ塾」 地域に元気をつくりだす！

	日時	内容	参加※
1	9月3日(木) 9:30~12:00 以下同じ時間	①コラボ塾の開催主旨について ②「コラボ四街道」の概要 ③公開講座「コロナ禍でのこれからのボランティア活動を考える」 講師 川中大輔さん(シチズンシップ共育企画代表、龍谷大学社会学部講師)	
2	9月17日(木)	①四街道市の地域課題を出し合おう ②これまでのコラボ事業採択の事例紹介	
3	10月1日(木)	①アイデアのたねを掘り起こし、事業を企画しよう ②「コラボ四街道」の申請書の書き方のポイント	
4	10月15日(木)	①企画提案書を書いてみよう ②プレゼンをしてみよう	
5	令和3年 1月21日(木)	本番直前プレプレゼン	

カ、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せに貸出すことについては、施設利用状況に記載した通り、6月中は、上限5人程度までとした。

令和2年度7月 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来所者数 (人)	63	77	155	189								
1日あたり来所者数 (人)	4	4	9	9								
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	5	5	15	16								
ミーティングスペース 利用人数 (人)	22	22	87	109								
新着情報 (件)	27	26	23	27								
相談件数 (件)	4	1	6	8								

・7月1日から、センターは通常通りの開館時間となった。(開館日21日) 来館者数は、オンラインでの会議等への参加者7人も含んでいる。

・センターの開館時間について、Facebook、ホームページ、ブログ、メールマガジン、掲示などでお知らせした。また、ミーティングスペースの利用に関して、・利用者名簿への記入、ご自身の健康状況の把握、手洗い・手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスを考慮した着席などについて注意を伝え、センターでも配慮した。

2. 主なセンター事業と業務

ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

○「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。

○地域で市民や団体が、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

地域の恒例化の中での困りごとを解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

自治会情報交換会 9月3日、コラボ塾公開講座参加後、情報交換会を行うこととした。

また、8月8日の「みんなで災害支援を考えるつどい」も併せて参加呼び掛けをした。

子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

子どもサポートプロジェクト

・子ども向けチラシ作成・配布「よつかいどうこどもたちのいばしょさがし」

Facebookでの掲載について、他市他県含めて30件のシェアがあり、自分の自治体でも作りたいなどの声があった。

・ミーティング7月14日(火)10人(2人+オンライン4人+スタッフ等4人)子どもの状況について意見交換しお母さんの不安を共有する場が必要などとの意見が出された。

子どもの居場所を開催している団体とのオンライン交流会を実施することとなった(7月28日)

・子ども支援団体オンライン交流会 7月28日(火)14人(7人+オンライン3人+スタッフ等4人)

・居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKUまある」7月中止

○みんなで地域づくりのアイデアのたねを探し、みんなで育てよう！

・ZOOM座談会 ～今を語り、明日をつくろう～ 6月9日、12日実施

実施後の動きとして、大学生のつくるラジオ番組を飲食店で流すなど参加者同士のつながりができた。

○災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めることについて

「みんなで災害支援を考えるつどい」～四街道市に みんなで災害支援ネットワークを！～(企画・準備)

8月8日(土)13:30-16:00 文化センター203 定員40人 広報 呼び掛け、当日準備

1.学習会の目的

- 2.永田豊弁護士の講演 ①災害時における弁護士の役割 ②千葉県弁護士会の取り組み
③生活再建に関する法律・制度の解釈・活用の方法 ④参加者からの質疑応答
- 3.ワークショップ「災害支援 あなたの組織ができること」
- 4.「みんなで災害支援ネットワーク」の提案と今後の予定

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。
・夏休み小学生ボランティア体験 新型コロナウイルス感染拡大予防、小学校の夏休み短縮のため中止と決定している。

ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・広報誌「みんなで」25号(9月発行「まちのお店を応援しよう」)編集。自治会回覧7、8月は難しい。
- ・Facebook でイベントの告知、センターのオープン時間などをお知らせした(いいね!729)
- ・ホームページ トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。(テーマは、しあわせ)
- ・団体情報は、情報シートの様式と更新の流れの見直しを行い、団体にシートを送付した。(ホームページ団体紹介掲載76団体)
- ・メールマガジンを毎月月末に配信。センター開館時間及びご利用方法、センター事業についてのお知らせなどを掲載した。
- ・福島県からの避難者のために、県から届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。

エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること 相談件数 上記

オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高める。

・「市民団体の寄付集め」

講師 関 雄さん(ファンドレイザー)

()内は、参加者のうちスタッフ等の人数

	日時	内容	参加※
1	6月20日(土) 13:30~16:30	寄付を集めるということとは? 支援者の集め方、事例紹介	17人 (7人)
2	7月4日(土) 13:00~15:30	ワークを中心に、団体の状況を把握しできることを洗い出す 終了後 個別相談(4団体)	21人(7人)

[参加者感想]

2日目 寄付集めについて大変さを実感していた。寄付(現金)だけでなく、応援してくれる人や技術、知識も集めることが大切だとわかった/寄付集めのツールや知識を知る事ができた/シートを使っただけのワークは隣の人と話すことで気づきがあった。

※個別相談に参加した4団体のうち、講師による伴走支援を2団体が希望して受けることとなった。

○「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出する。

令和2年度「コラボ塾」 地域に元気をつくりだす! (企画・準備)

	日時	内容	参加※
1	9月3日(木) 9:30~12:00	①コラボ塾の開催主旨について ②「コラボ四街道」の概要 ③公開講座「コロナ禍でのこれからのボランティア活動を考える」 講師 川中大輔さん(シチズンシップ共育企画代表、龍谷大学社会学部講)	

	以下同じ時間	師)	
2	9月17日(木)	①四街道市の地域課題を出し合おう ②これまでのコラボ事業採択の事例紹介	
3	10月1日(木)	①アイデアのたねを掘り起こし、事業を企画しよう ②「コラボ四街道」の申請書の書き方のポイント	
4	10月15日(木)	①企画提案書を書いてみよう ②プレゼンをしてみよう	
5	令和3年 1月21日(木)	本番直前プレプレゼン	

カ、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せに貸出すことについては、利用者名簿記入、健康状態をチェック、手洗い、アルコール消毒、マスク着用、着席の際に人と人との間隔をあけることなど、感染予防に配慮した。

令和2年度8月 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来所者数 (人)	63	77	155	189	171							
1日あたり来所者数 (人)	4	4	9	9	8							
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	5	5	15	16	18							
ミーティングスペース 利用人数 (人)	22	22	87	109	93							
新着情報 (件)	27	26	23	27	32							
相談件数 (件)	4	1	6	8	3							

・(開館日 21日)

- ・ミーティングスペースの利用に関して、利用者名簿への記入、ご自身の健康状況の把握、手洗い・手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスを考慮した着席などについて注意を伝え、センターでも配慮した。
- ・講座は、会場での定員、誓約書記入、アルコール設置、マスク着用など感染予防をして開催した。

2. 主なセンター事業と業務

ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

○「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。

○地域で市民や団体が、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

地域の恒例化の中での困りごとを解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

自治会情報交換会 9月3日、コラボ塾公開講座参加後、情報交換会を行うこととした。

子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

子どもサポートプロジェクト

・居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKUまある」8月中止

・第2回子ども食堂交流会・学習会 (第8回子ども支援団体交流会) (準備)

9月5日(土)10:00~12:00 文化センター203 定員30人(先着順)

10:00~「新型コロナウイルス対応と食中毒」(講師 ウェルシア澤田康弘さん) 11:00~ 交流会

○みんなで地域づくりのアイデアのたねを探し、みんなで育てよう!

・居場所づくり

地域づくりサロン「シェアハウス生活のすすめ」※参加者のうちスタッフ等の人数

日時	内容	参加※
8月4日(火) 9:30-11:30	講師 三星千絵さん(古民家シェアハウス「星空の家」運営) 内容 シェアハウスの運営に必要なこと シェアハウスマネージャーの仕事を知る/シェアハウスのはじめ方 大切にしたいことは何か/シェアハウス運営のコツ	21人(5人)

[参加者アンケート] 満足度(提出13人中)大変満足6、満足5、不通1、回答なし1

良かったところ…シェアハウスの管理方法について理解が深まった/実践から獲得したノウハウを細かく紹介された/全国のたくさんの空き家の有効利用という観点からも興味がある

改善点…オンラインで配信するのもあり得るのかもしれない

活動に活かせるヒント…地域に開かれた場所は子どもにも大人にも必要/シェアハウスに限らず起業するときのポイント (ターゲット、コンセプト、広報手段)、組織運営 (コミュニケーションルールの設定)

・地域づくりサロン 「だれでも参加できるアートでまちづくり」 (企画・準備)

～まちにとけこむアート活動 10月11日(日)13:30～16:00 わろうべの里ホール

講師 こまちだたまお さん (たまあーと創作工房 代表) ※昨年3月延期、4月再延期してきた

○災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めることについて

・「みんなで災害支援を考えるつどい」～四街道市に みんなで災害支援ネットワークを！～

日時	内容	参加※
8月8日(土) 13:30～16:00	1. 学習会の目的 2. 永田豊弁護士の講演 ①災害時における弁護士の役割 ②千葉県弁護士会の取り組み ③生活再建に関する法律・制度の解釈・活用の方法 ④参加者からの質疑応答 3. ワークショップ「災害支援 あなたの組織ができること」 4. 「みんなで災害支援ネットワーク」の提案と今後の予定	36人(7人)

参加者所属等 社協、市民団体8、自治会・避難所運営委員会など3、企業・大学3、その他自営業・市民
[参加者アンケート]

講演会について 大変参考になった10、参考になった11、難しかった・あまり興味が持てなかった0、その他0

「災害支援ネットワーク」どんな内容を希望? 専門家による講座11、参加者同士の情報交換10、常総市、岡山県などの災害支援ネットワークをつくり奔走した組織代表による講座 など

災害支援ネットワークが立ち上がった時、個人や組織でどんなことが支援できるかを挙げてもらった

[まとめ] 各組織では日頃の活動の中で災害時の連携の必要性を強く感じ、「なにか動かなければ、つながらなければ…」と思っていることが分かった。日頃の活動に基づく資源(知識・情報など)が、災害時の被災者支援につながる可能性が高いことも明らかになった。センターに期待されることは、そのような思い・力のある組織・団体をまとめつながっていくための情報交換の場の提供や、他地域の事例紹介、非常時の情報集約と発信ではないか。災害ボランティアセンターを立ち上げる社協との連携も一層深め、いざという時の補完関係を気づいていきたい。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

・「ちばユニバーサル農業フェスタ in 四街道」コーディネート12月5日(土) 予定

状況を見て開催できる形を探る

ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・広報誌「みんなで」25号(9月発行「まちのお店を応援しよう」)発行。8月も自治会回覧はできない。
- ・Facebookでイベントの告知、センターのオープン時間などをお知らせした(いいね!733)
- ・ホームページ トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくるとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。(テーマは、しあわせ)
- ・団体情報は、団体にシートを送付し更新。(ホームページ団体紹介掲載76団体)
- ・メールマガジンを毎月月末に配信。センター開館時間及びご利用方法、センター事業についてのお知らせなどを掲載した。
- ・福島県からの避難者のために、県から届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。

エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること 相談件数 上記

オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高める。

- ・「市民団体の寄付集め」2回連続 講師 関 雄さん（ファンドレイザー）6月20日、7月4日実施
 ※個別相談に参加した4団体のうち、2団体が講師による伴走支援を希望して受けることとなった。
 伴走支援よつまちラジオ7月～、四街道市まちづくりLabo 8月～（オンラインで実施）

○「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出する。

令和2年度「コラボ塾」 地域に元気をつくりだす！（企画・準備）

広報 市政だより8月15日号掲載、チラシ公共施設配布 Facebook、ホームページ、メールマガジン等

	日時	内容	参加※
1	9月3日(木) 9:30~12:00 以下同じ時間	①コラボ塾の開催主旨について ②「コラボ四街道」の概要 ③公開講座「コロナ禍でのこれからのボランティア活動を考える」 講師 川中大輔さん（シチズンシップ共育企画代表、龍谷大学社会学部講師）	
2	9月17日(木)	①四街道市の地域課題を出し合おう ②これまでのコラボ事業採択の事例紹介	
3	10月1日(木)	①アイデアのたねを掘り起こし、事業を企画しよう ②「コラボ四街道」の申請書の書き方のポイント	
4	10月15日(木)	①企画提案書を書いてみよう ②プレゼンを試みよう	
5	令和3年 1月21日(木)	本番直前プレプレゼン	

カ、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せに貸出すことについては、利用者名簿記入、健康状態をチェック、手洗い、アルコール消毒、マスク着用、着席の際に人と人との間隔をあけることなど、感染予防に配慮した。

・大学生インターンシップ 3人（淑徳大学）5日間

センターの業務について、センター業務の実習（講座受け付け等運営やアンケートまとめなど）
 みんなで編集スタッフの取材に同行し、各自、情報誌作成

令和2年度9月 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来所者数 (人)	63	77	155	189	171	255						
1日あたり来所者数 (人)	4	4	9	9	8	12						
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	5	5	15	16	18	14						
ミーティングスペース 利用人数 (人)	22	22	87	109	93	73						
新着情報 (件)	27	26	23	27	32	44						
相談件数 (件)	4	1	6	8	3	8						

・(開館日 21日)

- ・ミーティングスペースの利用に関して、利用者名簿への記入、ご自身の健康状況の把握、手洗い・手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスを考慮した着席などについて注意を伝え、センターでも配慮した。
- ・講座は、会場での定員、誓約書記入、アルコール設置、マスク着用など感染予防をして開催した。

2. 主なセンター事業と業務

ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

- 「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。
- 地域で市民や団体が、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

地域の恒例化の中での困りごとを解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

自治会情報交換会 9月3日、コラボ塾公開講座参加後、情報交換会を行うこととしたが、申込みが少なく情報交換会は実施できなかった。(自治会には、担当課から集会の自粛などについての連絡が行っているとのこと)

子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

子どもサポートプロジェクト

- ・プロジェクトミーティング
- ・居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKUまある」 9月15日 スタッフが10月再開を目指し、新型コロナウイルス感染予防について話し合いを行った。
- ・第2回子ども食堂交流会・学習会 (第8回子ども支援団体交流会)

日時	内容	参加※
9月5日(土)10:00~12:00 文化センター203	10:00~「新型コロナウイルス対応と食中毒」(講師 ウエルシア澤田康弘さん) 1) 新型コロナウイルスについて 2) 子ども食堂における感染拡大防止 3) テイクアウトした場合の細菌性食中毒 11:00~ 交流会(前半 自己紹介・学習会振り返り、後半「子ども食堂ネットワークを四街道に!」をテーマに意見交換)	30人(6人)

・子ども食堂ネットワークのメリットとして、①他の自治体の情報が入る(子ども食堂保険やガイドラインなど)②食材を共有可能 ③ボランティアスタッフの人材確保(ボランティアセンターとの協力)④問題や課題、解決策の共有(情報共有)などがあげられ、今後も話し合いを進めていく。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために子ども食堂や居場所を開くことができず活動再開に踏み出せないでいる団体の皆さんに、「これから、どうやって活動していこうか？」を前向きに考え、一歩踏み出すきっかけになった。

[アンケート結果]

よかったところ：情報交換できた。コロナで何に気を付ければいいのか具体策を聞いた／子どもキッチンの再開のヒントをいただいた気がする

活動に活かせるヒント：新しい考え方の準備、食事がなくても居場所でのよいよという視点／子ども食堂単体ではなく、ボランティアセクターや農家、民生委員とつながって一緒によりよい支援ができればよいのではないかと

○みんなで地域づくりのアイデアのたねを探し、みんなで育てよう！

・地域づくりサロン 「だれでも参加できるアートでまちづくり」 (企画・準備)

～まちにとけこむアート活動 10月11日(日)13:30～16:00 わろうべの里ホール

講師 こまちだたまおさん(たまあーと創作工房 代表) ※昨年3月延期、4月再延期してきた

○災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めることについて

・「みんなで災害支援を考えるつどい」～四街道市に みんなで災害支援ネットワークを！～

8月のつどい開催を受け、今後の災害支援ネットワークづくりについて検討

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

・「ちばユニバーサル農業フェスタ in 四街道」コーディネート12月5日(土) 開催(準備)

9月15日第1回実行委員会 大きなテーブル運営委員を中心に話し合い、12月5日の開催について決定。

日 時：2020年12月5日(土) 10:30～14:00

会 場：文化センター前広場(屋外・少雨決行)

出展ブース数：テントで10～15ブース程度(テント、机、テーブルは各団体用意)

趣 旨：農業の大切さを伝える(ユニバーサル農業)＋福祉施設の商品(大きなテーブル)をみんなに知ってもらおうこと。当日の販売だけでなく、どこで買えるかなどもお知らせして継続した販路につなげる。

出展料：「コロナ禍に対する支援」の意味から、無料とする ※損害賠償保険、チラシ印刷代は事務局負担

主催：実行委員会 協力：みんなで地域づくりセンター、地域振興財団

実行委員長 金室修平さん(NPO 法人はちみつ) 副委員長 愛甲夏美さん(障がい者就労・生活さぼーとピース) 田邊由香里さん(青空協同組合) 事務局 NPO 法人地域創造ネットワークちば

ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・広報誌「みんなで」25号(9月発行「まちのお店を応援しよう」)発行。引き続き自治会回覧はできない。
- ・Facebookでイベントの告知、センターのオープン時間などをお知らせした(いいね!737)
- ・ホームページ トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくるとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。(テーマは、しあわせ)
- ・団体情報は、団体にシートを送付し随時更新。(ホームページ団体紹介掲載76団体)
- ・メールマガジンを毎月月末に配信。センター開館時間及びご利用方法、センター事業についてのお知らせなどを掲載した。
- ・福島県からの避難者のために、県から届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。

エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること 相談件数 上記

オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高める。

・「市民団体の寄付集め」2回連続 講師 関 雄さん (ファンドレイザー)

※個別相談に参加した4団体のうち、2団体が講師による伴走支援を希望して受けることとなった。

伴走支援よつまちラジオ7月～、四街道市まちづくりLabo8月～ (オンラインで実施)

○「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出する。

令和2年度「コラボ塾」 地域に元気をつくりだす!

広報 市政だより 8月15日号掲載、チラシ公共施設配布 Facebook、ホームページ、メールマガジン等

	日時	内容	参加※
1	9月3日(木) 9:30~12:00 以下同じ時間 文化センター 203	①コラボ塾の開催主旨について ②公開講座「コロナ禍でのこれからのボランティア活動を考える」 講師 川中大輔さん(シチズンシップ共育企画代表、龍谷大学社会学部講師) ・コロナ禍の中でのボランティア活動は、「人との関りの大(多人数×不特定×密接)小(少人数×特定×距離あり)」と「オンラインとオフライン」を考慮して、活動を組み立てることや、各地での事例が話された。 ・グループに分かれ、それぞれの団体の紹介やコロナ禍での活動をどのように進めて行くか?などのディスカッションを行った。 ③「コラボ四街道」の概要	39人 (6人)
2	9月17日(木) 文化センター 203	①昨年度採択団体から事例紹介(応募の動機、実施した活動について) てとて、四街道こどもまちづくりプロジェクト、ちょこつとクラブ ②事例紹介団体との質疑応答 ③四街道の地域課題を出し合おう 地域の課題とその解決に向けて、何が出来るのか?何をどの様にすれば解決するのか?を書き出し、意見交換を実施。次回の3限目のアイデアの種を掘り起こし、事業の企画へと結びつける。	24人 (7人)
3	10月1日(木)	①アイデアのたねを掘り起こし、事業を企画しよう ②「コラボ四街道」の申請書の書き方のポイント	
4	10月15日(木)	①企画提案書を書いてみよう ②プレゼンをしてみよう	
5	令和3年 1月21日(木)	本番直前プレプレゼン	

[1 限目アンケート結果]

よかったところ:今回のコロナの中で活動する時の考え方の整理ができた/コロナ禍でもできることはあると思えた/全国のコロナ対策を知ることができた

活動に活かせるヒント:コロナ禍でのレベルに応じた活動の方法を表に整理する/オンラインになれている大学生の協力とオンラインの有効活用/正しい対策をすれば、恐れすぎず、活動できることが分かった

力、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せに貸出すことについては、利用者名簿記入、健康状態をチェック、手洗い、アルコール消毒、マスク着用、着席の際に人と人との間隔をあけることなど、感染予防に配慮した。

・大学生インターンシップ(淑徳大学)8月~引き続きみんなで編集委員会参加1人、9月から5日間参加1人 センター業務の実習(講座受付け等運営やアンケートまとめなど)

○オンラインコミュニケーション支援事業（企画・準備） 目的・内容など

・みんなでスマホ・タブレット講座 【6地区を中心に】

初級編：9時40分～10時40分 中級編：11時～12時

	日程	地区	会場	参加人数
1	10/16(金)	北中	文化センター201	15人
2	10/20(火) ※11:30～12:30、13～14:00	千代田中	千代田公民館ホール	15人
3	10/23(金)	四街道 西中A	緑ヶ丘団地集会所	15人
4	10/30(金)	四街道 西中B	鹿放ヶ丘ふれあいセンター ホール	15人
5	11/6(金) ※AM9:40～10:40、11～12:00	四街道中	わろうべの里食のスタジオ	10人
	〃 ※PM12:40～13:40、14～15:00	〃	わろうべの里食のスタジオ	10人
6	11/17(火)	旭中	旭公民館ホール	15人
追加	11/20(金)	北中	文化センター201 9:20-10:20、10:30-11:30	15人

[ターゲット]地域支えあい推進会議、地区社協、民生委員

みんなでスマホ・タブレット講座【一般公募】

初級編：9時40分～10時40分 中級編：11時～12時

	11/14(土)	文化センター201	20人
	11/24(火)	文化センター201	20人

[ターゲット]一般市民

・みんなでオンラインコミュニケーション講座

10時～12時

日程	会場	参加人数
11/27(金)	文化センター201	15人程度
12/1(火)	文化センター201	15人程度

[ターゲット]基礎編受講者、ケアマネージャー、オンラインコミュニケーションに興味のある人

・相談・サポート

10月から毎週火曜、対面、電話、オンラインによる相談対応。基礎編・コミュニケーション編受講者、都合で参加できなかった人、普段使い方で困っている人等に向けて実施。

令和2年度10月 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来所者数 (人)	63	77	155	189	171	255	407					
1日あたり来所者数 (人)	4	4	9	9	8	12	18					
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	5	5	15	16	18	14	24					
ミーティングスペース 利用人数 (人)	22	22	87	109	93	73	154					
新着情報 (件)	27	26	23	27	32	44	34					
相談件数 (件)	4	1	6	8	3	8	3					

(開館日 23日、開館日以外に主催事業を実施した日 1日)

- ・来所者数のうち スマホ・タブレット講座参加 140人
- ・フォローアップ(相談・サポート) 10月7人
- ・ミーティングスペースの利用に関して、利用者名簿への記入、ご自身の健康状況の把握、手洗い・手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスを考慮した着席などについて注意を伝え、センターでも配慮した。
- ・講座は、会場での定員、誓約書記入、アルコール設置、マスク着用など感染予防をして開催した。

2. 主なセンター事業と業務

ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

○「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。

○地域で市民や団体が、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

地域の恒例化の中での困りごとを解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

自治会情報交換会

子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

子どもサポートプロジェクト

- ・プロジェクトミーティング 10月13日(第2火曜日) 子どもの状況、ユニバーサル農業フェスタ出展、12月子ども見守りサポーター養成講座の講師の希望などを話し合った。10人(うちスタッフ等4人)
- ・居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKU まある」 10月20日再開、千代田中にチラシ配布、新型コロナウイルス感染予防(消毒のチェック表、なども)について話し合いを行った。
- ・子ども見守りサポーター養成講座 12月22日開催(企画・準備) 講師 NPO 法人ネモネット(不登校・ひきこもりなどの支援活動、フリースクール、しゃべり場、親の会などを実施)

○みんなで地域づくりのアイデアのたねを探し、みんなで育てよう!

・地域づくりサロン「だれでも参加できるアートでまちづくり」

～まちにとけこむアート活動 10月11日(日)13:30～16:00 わろうべの里ホール

講師 こまちだたまおさん(たまあーと創作工房 代表) ※昨年3月延期、4月再延期してきた

参加 28人(参加者18人+子ども4人、スタッフ6人)

四街道の資源として何があるかを出し合い、アートをまちづくりに生かすことについてシートに書き込んだ。実際にどのようにまちづくりにつなげていくか形にしていけるのは、次回以降となる。

○災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めることについて

・第1回「みんなで災害支援ネットワーク」ミーティング

日時 11月21日(土) 13:30~16:00 場所 四街道市文化センター207号室

8月の「みんなで災害支援を考えるつどい」で決まった「みんなで災害支援ネットワーク」づくりについて、進め方などを具体的に考えていく

内容 勉強会「四街道市災害ボランティアセンター」について

災害ボランティアセンターワーキングチーム 豊田紀幸さん、山崎剛さん

参加団体の紹介(どんな活動をしているか、どんな支援が可能かなど)

「みんなで災害支援ネットワーク」の進め方について、その他の情報交換

○四街道の魅力発信や地域活性化について、「みんなで地域づくり」(市民協働)をすすめる拠点として市民、市民活動団体、行政、関係機関をつなぎ、コーディネートします。

・ちば食べる通信(千葉をもっと好きになる「食べもの付き情報誌」)第2号四街道の発行にあたり、取材先となる四街道市内の農家の紹介などのコーディネートをした。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

・「ちばユニバーサル農業フェスタ in 四街道」のコーディネート(企画・準備)

第2回実行委員会 10月6日(火) フェスタの概要について決定

日時:2020年12月5日(土) 10:30~14:00

会場:文化センター前広場(屋外・少雨決行)

出展ブース数:20ブース 実行委員会から市内及び近隣の農業福祉の関係団体に出展呼びかけ

趣旨:農業の大切さを伝える(ユニバーサル農業)+福祉施設の商品(大きなテーブル)をみんなに知ってもらうこと。当日の販売だけでなく、どこで買えるかなどもお知らせして継続した販路につなげる。

出展料:「コロナ禍に対する支援」の意味から無料とする

新型コロナウイルス感染予防:検温、記名、マスク着用、アルコール消毒など、人を配置して行う。

主催:実行委員会 協力:みんなで地域づくりセンター、地域振興財団

実行委員長 金室修平さん(NPO法人はちみつ) 副委員長 愛甲夏美さん(NPO法人みのり福祉会 障がい者就労・生活さぼりとピース) 田邊由香里さん(同法人 青空協同組合)

事務局 NPO法人地域創造ネットワークちば

後援 千葉県、四街道市教育委員会、四街道市社会福祉協議会、千葉県生活協同組合連合会

ちば県民活動PR月間2020 賛同行事

ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・広報誌「みんなで」26号(9月発行「まちのお店を応援しよう」)発行。引き続き自治会回覧はできない。
- ・Facebookでイベントの告知、センターのオープン時間などをお知らせした(いいね!739)
- ・ホームページ トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。(テーマは、しあわせ)
- ・団体情報は、団体にシートを送付し随時更新。(ホームページ団体紹介掲載76団体)
- ・メールマガジンを毎月月末に配信。センター開館時間及びご利用方法、センター事業についてのお知らせなどを掲載した。
- ・福島県からの避難者のために、県から届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。

エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること 相談件数 上記

オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高める。

・広報講座 企画

○「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出する。

令和2年度「コラボ塾」 地域に元気をつくりだす！

広報 市政だより 8月15日号掲載、チラシ公共施設配布 Facebook、ホームページ、メールマガジン等

	日時	内容	参加※
3	10月1日(木)	①アイデアのたねを掘り起こし、事業を企画しよう ②「コラボ四街道」の申請書の書き方のポイント 5団体から、考えている事業について「課題」「アイデアのたね」、「効果」「市に期待すること」を説明し、参加者による質疑を行った	13人 (5人)
4	10月15日(木)	①企画提案書を書いてみよう ②プレゼンをしてみよう 5団体が、事業の企画提案書を作り、参加者の前でプレゼンを行い、参加者全員と意見交換をした。	17人 (6人)
5	令和3年 1月21日(木)	本番直前プレプレゼン	

カ、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せに貸出すことについては、利用者名簿記入、健康状態をチェック、手洗い、アルコール消毒、マスク着用、着席の際に人と人との間隔をあけることなど、感染予防に配慮した。

・大学生インターンシップ 各自、課題としたブログを作成。また、2名が引き続き「みんなで」の編集会議に参加

○オンラインコミュニケーション支援事業

目的

新型コロナウイルス感染予防のために、対面でのコミュニケーションがとりにくくなり、孤立しがちな人が増えることが心配されます。そんな中で、高齢者等の情報格差解消及びオンラインによるコミュニケーションの推進を図るための支援として、「スマホ・タブレット講座」「オンラインコミュニケーション講座」「フォローアップ(相談・サポート)」を行います。

・みんなでスマホ・タブレット講座 【6地区を中心に】

各地区社協への呼びかけを行った後、申込みは地区に限らず受付けた

初級編：9:40～10:40 中級編：11:00～12:00

	日程	地区	会場		参加人数 一般参加者＋スタッフ等
1	10/16(金)	北中	文化センター201	初級 中級	21人+8人 18人+7人
2	10/20(火)	千代田中	千代田公民館ホール ※11:30～12:30、13～14:00	初級 中級	20人+5人 18人+5人
3	10/23(金)	四街道 西中A	緑ヶ丘団地集会所	初級 中級	16人+5人 15人+5人
4	10/30(金)	四街道	鹿放ヶ丘ふれあいセンター	初級	14人+5人

		西中B	ホール	中級	18人+5人
5	11/6(金)	四街道中	わろうべの里食のスタジオ ※AM9:40~10:40、11~12:00	初級 中級	
	〃 午後	〃	わろうべの里食のスタジオ ※PM12:40~13:40、14~15:00	初級 中級	
6	11/17(火)	旭中	旭公民館ホール	初級 中級	
追加	11/20(金)	北中 +一般	文化センター206	初級 中級	
追加	〃 午後	一般	文化センター206	初級 中級	

・みんなでスマホ・タブレット講座【一般公募】初級編：9時40分～10時40分 中級編：11時～12時

	11/14(土)		文化センター201	初級 中級	
追加	〃 午後		〃	初級 中級	
	11/24(火)		文化センター201	初級 中級	

・みんなでオンラインコミュニケーション講座

午前 ゲスト編10:00~11:00 ホスト編11:30~12:30 午後 ゲスト編13:30~14:40 ホスト編15:00~16:00

日程	会場		
11/27(金)	文化センター201	ゲスト編 ホスト編	
追加 〃		ゲスト編 ホスト編	
12/1(火)	文化センター201	ゲスト編 ホスト編	
追加 〃		ゲスト編 ホスト編	

・フォローアップ (相談・サポート)

毎週火曜、対面、電話、オンラインによる相談対応およびサポートを行う。

10月27日 5人

10月30日 2人

令和2年度11月 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来所者数 (人)	63	77	155	189	171	255	407	516				
1日あたり来所者数 (人)	4	4	9	9	8	12	18	4				
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	5	5	15	16	18	14	24	26				
ミーティングスペース 利用人数 (人)	22	22	87	109	93	73	154	139				
新着情報 (件)	27	26	23	27	32	44	34	30				
相談件数 (件)	4	1	6	8	3	8	3	6				

- ・来所者数のうち スマホ・タブレット講座参加 291 人、オンラインコミュニケーション講座参加 23 人
- ・フォローアップ(相談・サポート) 11月7人
- ・(開館日 20 日、開館日以外に主催事業を実施した日 1 日)
- ・ミーティングスペースの利用に関して、利用者名簿への記入、ご自身の健康状況の把握、手洗い・手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスを考慮した着席などについて注意を伝え、センターでも配慮した。
- ・講座は、会場での定員、誓約書記入、アルコール設置、マスク着用など感染予防をして開催した。

2. 主なセンター事業と業務

ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

○「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。

○地域で市民や団体が、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

地域の恒例化の中での困りごとを解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

自治会情報交換会

子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

子どもサポートプロジェクト

・プロジェクトミーティング 11月10日(第2火) 子どもの状況、ユニバーサル農業フェスタ出展、12月子ども見守りサポーター養成講座について

・居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKU まある」11月17日新型コロナウイルス感染予防対策をして開催した。

・子ども見守りサポーター養成講座 ～ネモネット 生きているだけでOKな場所～(企画・準備)

日時：12月22日(火) 9:45-11:45

講師 NPO 法人ネモネット(不登校・ひきこもりなどの支援活動、フリースクール、しゃべり場、親の会などを実施)

○災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めることについて

・第1回「みんなで災害支援ネットワーク」ミーティング

その時。連携の力で街を支えよう

日 時 11月21日(土) 13:30~16:00 場所 四街道市文化センター207号室

参 加 30人(24団体・企業・組織から)

内 容 1. 災害が発生した時に、立ち上がる「災害ボランティアセンター」についての勉強会

2. 「みんなで災害支援ネットワーク」に参加する団体の紹介(日常の活動内容や災害支援に提供

できる資源など)

3. ネットワークの情報共有方法や活動内容についての意見交換

➡運営 (抜粋)

- ・各々の参加団体は、災害支援に関するネットワークの情報を共有し、連携して支援活動する。
- ・参加メンバーの意向を基に、災害支援に関する外部講師を招いての勉強会や情報交換会を1、2回を目安に開催する。必要に応じて、オンライン会議も開催する。
- ・事務局は、四街道市みんなで地域づくりセンターが担当する。

4. 災害支援に関する情報交換

センターでは今回提案した「みんなで災害支援ネットワーク」のすそ野を広げ、より多くの市民・団体に参加していただけるよう、皆さんのご意見を聞きながら学習や視察、情報交換の場を提案していきたい。

○四街道の魅力発信や地域活性化について、「みんなで地域づくり」(市民協働)をすすめる拠点として市民、市民活動団体、行政、関係機関をつなぎ、コーディネートします。

- ・ちば食べる通信(千葉をもっと好きになる「食べもの付き情報誌」)第2号四街道の発行にあたり、取材先となる四街道市内の農家の紹介など10月に引続きコーディネートした。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

- ・「ちばユニバーサル農業フェスタ in 四街道」のコーディネート(企画・準備)

日 時: 2020年12月5日(土) 10:30~14:00

会 場: 文化センター前広場(屋外・少雨決行)

出展ブース数: 20ブース 実行委員会から市内及び近隣の農業福祉の関係団体に出展呼びかけ

趣 旨: 農業の大切さを伝える(ユニバーサル農業)+福祉施設の商品(大きなテーブル)をみんなに知ってもらふこと。当日の販売だけでなく、どこで買えるかなどもお知らせして継続した販路につなげる。

出展料: 「コロナ禍に対する支援」の意味から無料とする

新型コロナウイルス感染予防: 検温、記名、マスク着用、アルコール消毒など、人を配置して行う。

主催: ちばユニバーサル農業フェスタ in 四街道実行委員会

協力: みんなで地域づくりセンター、地域振興財団

実行委員長 金室修平さん(NPO法人はちみつ) 副委員長 愛甲夏美さん(NPO法人みのり福祉会 障がい者就労・生活さぼーとピース) 田邊由香里さん(同法人 青空協同組合)

事務局 NPO法人地域創造ネットワークちば

後援 千葉県、四街道市教育委員会、四街道市社会福祉協議会、千葉県生活協同組合連合会

協賛 生活クラブ生協千葉、(社福)生活クラブ、(一社)千葉県労働者福祉協議会

中央ろうきん(ボールペン200本提供)

ちば県民活動PR月間2020 賛同行事

ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・広報誌「みんなで」27号(12月発行「この街でアートを楽しむ」)発行。引き続き自治会回覧はできない。
- ・Facebookでイベントの告知、センターのオープン時間などをお知らせした(いいね!742)
- ・ホームページ トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。(テーマは、しあわせ)
- ・団体情報は、団体にシートを送付し随時更新。(ホームページ団体紹介掲載77団体)
- ・メールマガジンを毎月月末に配信。センター開館時間及びご利用方法、センター事業についてのお知らせなどを掲載した。

- ・福島県からの避難者のために、県から届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。

エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること 相談件数 上記

オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

- 「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高める。

- ・広報講座 企画

- 「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出する。

令和2年度「コラボ塾」 地域に元気をつくりだす！

広報 市政だより8月15日号掲載、チラシ公共施設配布 Facebook、ホームページ、メールマガジン等

	日時	内容	参加※
5	令和3年 1月21日(木)	本番直前プレプレゼン	

カ、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

- ・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せに貸出すことについては、利用者名簿記入、健康状態をチェック、手洗い、アルコール消毒、マスク着用、着席の際に人と人との間隔をあけることなど、感染予防に配慮した。

○オンラインコミュニケーション支援事業

目的

新型コロナウイルス感染予防のために、対面でのコミュニケーションがとりにくくなり、孤立しがちな人が増えることが心配される中で、高齢者等の情報格差解消及びオンラインによるコミュニケーションの推進を図るための支援として、「スマホ・タブレット講座」「オンラインコミュニケーション講座」「フォローアップ(相談・サポート)」を行う。

- ・みんなでスマホ・タブレット講座

各地区社協への呼びかけを行った後、申込みは地区に限らず受付けた

初級編：9:40～10:40 中級編：11:00～12:00

日程	地区	会場		参加人数 一般参加者	スタッフ等
10/16(金)	北中	文化センター201	初級	21人	8人
			中級	18人	
10/20(火)	千代田中	千代田公民館ホール ※11:30～12:30、13～14:00	初級	20人	5人
			中級	18人	
10/23(金)	西中A	緑ヶ丘団地集会所	初級	16人	5人
			中級	15人	
10/30(金)	西中B	鹿放ヶ丘ふれあいセンター ホール	初級	14人	5人
			中級	18人	
11/6(金)	四街道中	わろうべの里食のスタジオ ※AM9:40～10:40、11～12:00	初級	17人	5人
			中級	19人	
" 午後	四街道中	わろうべの里食のスタジオ ※PM12:40～13:40、14～15:00	初級	14人	5人
			中級	16人	
11/14(土)	一般	文化センター201	初級	19人	5人

				中級	22人	
" 午後	一般	"		初級	16人	6人
				中級	18人	
11/17(火)	旭中	旭公民館ホール		初級	16人	5人
				中級	18人	
11/20(金)	予備日 北中+一般	文化センター206		初級	22人	5人
				中級	20人	
" 午後	予備日 一般	文化センター206		初級	17人	5人
				中級	19人	
11/24(火)	一般	文化センター201		初級	15人	4人
				中級	23人	
合計				初級	207人	
				中級	224人	
		10月140人、11月291人			431人	

・みんなでオンラインコミュニケーション講座

午前 ゲスト編 10:00~11:00 ホスト編 11:30~12:30 午後 ゲスト編 13:30~14:40 ホスト編 15:00~16:00

日程	会場		一般参加者
11/27(金)	みんなで地域づくりセンター	ゲスト編	5人
		ホスト編	6人
追加 "	"	ゲスト編	6人
		ホスト編	6人
合計		ゲスト編	11人
		ホスト編	12人
	11月		23人

・フォローアップ (相談・サポート)

毎週火曜、対面、電話、オンラインによる相談対応およびサポートを行う。

10月27日 5人

10月30日 2人

11月10日 3人

11月17日 4人

コラボ四街道ガイドブック 2021

みんなで地域づくり事業提案制度募集要項

~~~~~  
**1 みんなで地域づくり事業提案制度（コロナ四街道）とは**

みんなで地域づくり事業提案制度（コロナ四街道）は、NPO 法人、ボランティア団体、自治会などの自主的に地域づくり活動を行う市民団体が、よりよい地域をつくりだしたり、地域にある課題の解決につながる事業を提案し、主体的に、または市と協力して事業を実施する制度です。  
市民団体及び市は人材、技術、場所、資金等の社会資源を持ち寄ることで事業の実現性を高め、魅力ある地域づくりを実践していきます。

~~~~~  
2 提案できる団体は

提案できる市民団体は、次の①～③のすべての要件に該当する団体とします。

*NPO、事業者等も対象になります

- ①四街道市内を主な活動範囲としていること
- ②運営及び会計処理が適正に行われていること
- ③三人以上で組織されていること

~~~~~  
**3 対象となる事業は**

みんなで地域づくり事業の対象となる事業は、次の①から⑦のすべての要件に該当する事業で、かつ④から⑦までのいずれかに該当するものとします。

- ①地域づくり、地域課題等の解決につながるもの
- ②市民ニーズに柔軟に対応し、具体的な成果が期待できるもの
- ③事業計画及び予算の積算が適正であるもの
- ④市民の地域への参画が促進されるもの
- ⑤市と協力して実施することにより、市及び市民団体双方の事業の推進に相乗効果が期待できるもの
- ⑥市民団体の基盤強化や人材育成につながるもの
- ⑦事業の目的意識や役割分担が明確で地域づくりにつながるもの

ただし、次のいずれかに該当する事業は対象外とします。

- ①現在本制度の事業として実施されている事業で三年を超えるもの
- ②営利のみを目的としたもの
- ③特定の個人や市民団体のみが利益を受けるもの
- ④調査研究のみを目的としたもの
- ⑤交流または親睦のみを目的としたもの
- ⑥宗教活動または政治活動を目的としたもの
- ⑦特定の公職の候補者もしくは公職にある者または政党に関係するもの
- ⑧暴力団または暴力団員と関係するもの
- ⑨公序良俗に反するもの
- ⑩国、県及びそれらの外郭団体等から助成を受けているもの
- ⑪既存制度で対応できるもの
- ⑫その他市長が適当でないと認めるもの

**募集期間**

2020.10.1|木|-11.5|木|

**意見交換等期間**

2020.11.5|木|-11.26|木|

**最終提出期限**

2020.12.3|木|

**公開プレゼンテーション**

2021.2月中旬頃[予定]

## 5 補助金の額

事業の実施に直接要する経費について、次に示す補助額、補助率を上限として予算の範囲内で補助金を交付します。補助率の上限というのは、対象経費（6 対象経費 参照）のうち何%まで補助金の交付が可能かを示したものです。上限額の範囲内で補助金を設定してください。

例) 申請一年度目・対象経費 56 万円の場合⇒56 万円×90%=50 万 4 千円のため、上限である 50 万円まで補助金の申請が可能

\*補助金の額は千円未満を切り捨てた額となります

|            | 一年度目<br>【補助上限額（率）】         | 二年度目<br>【補助上限額（率）】         | 三年度目<br>【補助上限額（率）】         |
|------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ①拠点づくり部門   | 500 万円<br>(対象経費の 80%)      | 300 万円<br>(対象経費の 80%)      | 200 万円<br>(対象経費の 80%)      |
| ②地域づくり部門   | 50 万円 (90%)<br>(対象経費の 90%) | 40 万円 (90%)<br>(対象経費の 90%) | 30 万円 (90%)<br>(対象経費の 90%) |
| ④アンダー19 部門 | 10 万円 (対象経費の 100%)         |                            |                            |

\*補助期間は単年度ですが、補助を継続することで次年度以降の事業の波及性、発展性等が見込まれるものや大きな成果が期待できる場合は、三年度を限度に申請が可能です（審査は年度ごと実施）

\*事業の実績を踏まえて、課題、問題点を検証し、改めて計画をつくり、次年度以降の提案につなげてください

□補助金の金額の変更について

補助金の金額は、募集期間から最終提出期間のうち、募集期間が終了した後は、原則金額を上げることができませんので、ご注意ください。

また、決算時に対象経費の 90%が予算時の補助金額に満たない場合は決算時の対象経費の 90%までしか補助金を出すことができませんので、ご注意ください。

## 4 事業部門について

事業の実施にあたって、市民団体が提案できる部門は、以下のとおりとなります。

### ①拠点づくり部門

みんなで地域づくりの拠点となる施設の整備、設備の設置等を行う事業部門です。

\*「拠点づくり」とは、建物の改装、設備の設置など場や空間を創出することで地域づくりや地域課題等の解決を図るものをいいます

【具体例】

- ①まちの魅力アップ（まちのシンボル施設の整備、ライトアップ設備の整備）
- ②産業振興、市街地活性化（地域製品の販売施設整備、空き家を活用したコミュニティスペースの整備）

\*施設の整備、設備の設置などにより地域づくりにつながるものが対象となります（調査のみの事業、ワークショップなどのソフト事業は除きます）

\*施設の整備が完了した日から五年間は本制度の目的に反した行為（使用、譲渡、交換、貸付、除去、担保）をしてはけません

\*施設を整備するのみの一過性の事業ではなく、整備後、市民団体等が施設の管理・運営を継続して行うことで地域づくりにつなげていくことが期待できる公益性の高い事業が対象となります

\*個人や企業が所有する施設の整備を行う場合、以上のことを担保する内容を含んだ契約を所有者と締結してください

### ②地域づくり部門

上記①以外の事業部門です。

地域づくりにつながる取組や催しをいいます。

【具体例】

- ①環境美化・里山保全（公共施設の環境美化活動、ほたる観察会）
- ②賑わい（グルメフェスティバル開催、フリーマーケット開催）
- ③健康（健康ウォーキングマップ作成、健康づくり体操教室開催）
- ④居場所づくり（公民館での寺子屋活動、子育てママのためのプチ起業講座）

\*地域づくりや地域課題の解決を図るための活動の初期団体で活動基盤を整えたい団体、既に一定の活動実績があり、活動を拡充させたい団体、地域社会貢献活動（CSR）を行う事業者など幅広い団体が応募できます

### ④アンダー19 部門

事業実施年度において市内在住または在学する満 19 歳未満を主体とした市民団体が行う事業部門です。ただし、20 歳以上の方を代表者としてください。

本部門は、若い世代が積極的に地域に関わることを進めるものですが、19 歳以上の方の参加を妨げるものではありませんので、積極的に活動に関わってください。

【具体例】

- ①高校生によるチャリティバザーの開催
- ②小学生による地域情報の発信を行うためのこども通信の発行
- ③高校生による地域の子どもの学習サポートを行う寺子屋の開催
- ④中学生による高齢者とのおしゃべりサロンの開催

□対象となる経費の例示

| 費目                | 例示                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 報償費               | ◆外部講師、出演者への謝金（外部講師への交通費は報償費で計上）*ただし、1人あたりの補助金の上限を五万円とする<br>◆有償ボランティア費（主たる活動への団体構成員以外に対する謝金）*ただし、総事業費に占める割合が概ね三割を超えない範囲<br><b>（認められない経費）</b><br>・団体構成員に対する謝金・菓子折り（現金以外のもの）<br>・団体構成員でない場合であっても、団体内部の会費への参加に対する謝金 |
| 旅費                | ◆事業実施にあたり直接的に要するバス、電車等の交通費 *ICカード使用等で費用の証明が困難な場合は、経路、移動先等が客観的にわかる資料を整えること<br><b>（認められない経費）</b><br>・団体構成員に対する交通費、イベント等参加者の交通費                                                                                    |
| 需用費               | 消耗品費 ◆筆記用具、コピー用紙、種苗、環境衛生のための薬剤等<br><b>（認められない経費）</b><br>・出演者への花束等の品物 ・コンテスト等のトロフィー、メダル、記念品                                                                                                                      |
|                   | 印刷製本費 ◆PRポスター、パンフレット、プログラム、コピー、写真の現像等                                                                                                                                                                           |
|                   | 燃料費 ◆事業実施にあたり直接的に要するガソリン等                                                                                                                                                                                       |
| 役務費               | 通信運搬費 ◆募案案内、チラシ等の送料<br>◆会場までの資材等の配送に係る運搬費<br><b>（認められない経費）</b><br>・団体が所有している電話等の通信費 ・団体構成員のみの会議等に係る通信費                                                                                                          |
|                   | 手数料 ◆振込手数料、クリーニング代                                                                                                                                                                                              |
|                   | 保険料 ◆事業実施にあたり必要な保険料（イベント保険等）<br><b>（認められない経費）</b><br>・火災、地震等の家屋に係る保険料                                                                                                                                           |
| 委託費               | ◆事業実施にあたり、専門的な技術等（デザイン等）を要する業務を外部に委託する場合の経費<br><b>（認められない経費）</b><br>・次年度以降の計画のためのデザイン等に係る経費                                                                                                                     |
| 使用料及び賃借料          | ◆公民館等公共施設、会議室、イベント会場等使用料<br>◆機材レンタル料<br>◆事業実施のために借り上げた施設の使用料<br><b>（認められない経費）</b><br>・個人に車両等を借りた場合の使用料 ・団体等が管理する施設等への使用料<br>・団体事務所等、団体運営のための経常的な経費に当たるもの                                                        |
| 工事請負費             | ◆施設の新築、改修費<br><b>（認められない経費）</b><br>・施設の整備を伴わない除去、取り壊しのみに係る経費 ・土地等の造成費                                                                                                                                           |
| 原材料費              | ◆イベントで使用する食材や工作の材料等<br>◆施設の整備を伴う石材、セメント等の原材料費                                                                                                                                                                   |
| 備品購入費<br>*概ね二万円以上 | ◆事業実施にあたり必要不可欠なもので、長期的に当該事業において使用する物品<br><b>（認められない経費）</b><br>・パソコン等、他の事業においても使用可能な汎用性の高い物品                                                                                                                     |
| その他経費             | ◆事業のために必要な経費で、市長が必要かつ適切と認める経費                                                                                                                                                                                   |

6 対象経費

各部門において補助金の対象となる経費は次のとおりですが、経費の妥当性や金額については、担当課との意見交換や審査の段階で調整する場合があります。

| 拠点づくり部門                                                                                                                                            | 地域づくり部門・アンダー19部門                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| ①委託料<br>②工事請負費<br>③原材料費<br>④その他の経費<br>*施設整備に関わるものが対象となります<br>(対象外経費)<br>・事業に伴う活動費(需用費、通信運搬費等)<br>・設計・監理費(ただし、施設整備一体として認められる場合を除く)<br>・施設の使用料、光熱水費等 | ①報償費<br>②旅費<br>③需用費<br>④委託料<br>⑤通信運搬費<br>⑥使用料及び賃借料<br>⑦備品購入費<br>⑧保険料<br>⑨その他の経費 |

\*市民団体が経常的に要する経費（事務所の光熱水費やスタッフ人件費等）等は対象となりません  
また、補助金の申請後、市からの補助金の交付決定通知以前に発生した費用は原則対象となりません  
\*外壁改修、屋根の葺替え、生垣の設置等に補助金を使用する場合は、対象経費の1/2以下の金額に収めてください

□有償ボランティアの考え方（参考）

・有償ボランティア費（報償費）の計上にあたっては、公金を活用しての事業となること、また他の市民活動やボランティア活動との公平性等を考慮し、真に必要な経費であるかを精査してください。

【有償ボランティアの目安】

500円/半日（四時間程度） 1,000円/一日（八時間程度）

□予算計上時の注意点

・原則、団体構成員に支払う費用についてはどの費目においても対象外経費です。  
\*ただし、専門的な知識を有する方への依頼等を除く

・原則、対象経費の基準に当てはまっている費目であっても、予算書の対象経費内に計上されていないものは、決算時に対象外経費での計上となります。計上漏れがないかご確認のうえ、ご提出ください。

・原則、採択は単年度事業に対してのものであるため、採択事業実施年度の翌年度以降の計画に向けた準備に関する費用については対象外であっても計上できません。（繰越金等）

## 9 審査

提案された事業は、みんなで地域づくり推進委員会で書類審査及び公開プレゼンテーションにより審査します。

□審査基準 \*令和元年度事業審査時

| 審査項目                 | 審査の視点                                                          |
|----------------------|----------------------------------------------------------------|
| 市民ニーズ・地域課題の認識・事業の必要性 | 市民や地域のニーズ、地域課題等を的確に捉えているか<br>また本制度で事業を実施する必要があるか               |
| 企画力・企画の適正性           | 地域課題の解決や地域づくりを効果的、効率的に進めていくための具体的かつ現実的な企画になっているか               |
| 実現可能性・継続性            | 事業を実施する能力（専門知識、技術、人材等）があるか<br>また今後、事業の継続性（資金調達等）が見込めるか         |
| 発展性・波及性              | 事業の発展や地域に波及することが期待できるか<br>また多様な市民等の参加・参画が見込めるか                 |
| 成果・費用対効果             | 事業を実施することにより期待できる成果は明確かつ妥当であるか<br>またその成果に見合った妥当な経費の見積もりがされているか |

| 5点       | 4点    | 3点       | 2点       | 1点     |
|----------|-------|----------|----------|--------|
| とても評価できる | 評価できる | 基準（採択相当） | やや評価できない | 評価できない |

- ・各項目5点満点で採点し、事業採択の適否を審査します。
- ・各委員の採点の平均点が15点に満たない場合は選考しないものとします。
- \*審査基準等は、協議により変更される場合があります

## 10 事業の実施から完了まで

### ①補助金の申請

審査結果をもとに、市長は採択事業を決定します。

採択された市民団体は、必要に応じて担当課と詳細な意見交換等を行います。

補助金の交付にあたっては、次の書類を作成の上、4月1日以降、政策推進課に直接持参して提出してください。

- ①みんなで地域づくり事業補助金交付申請書（補助金交付要綱様式第1号）
- ②みんなで地域づくり事業計画書（実施要綱様式第2号）
- ③みんなで地域づくり事業収支予算書（実施要綱様式第3号）
- ④提案団体概要書（実施要綱様式第4号）
- ⑤団体の規約、会則等
- ⑥団体名簿
- ⑦その他申請にあたり必要となるもの

\*ただし②～⑥は提案時から変更がない場合は省略可

\*補助金の概算払いを希望する場合は、事前にご相談ください

\*団体名、代表者名、事業内容等について、ホームページ等で公開する場合があります

## 7 補助金以外の協力・サポート

市は、補助金の交付以外にも、相談、会場の確保、情報提供等、事業に実施にあたり必要な社会資源の提供を積極的に行います。

提案にあたっては、双方が提供できる社会資源について意見交換を行い、効果的に事業の実施ができるよう努めます。

□みんなで地域づくりセンターによるサポート

みんなで地域づくりセンターでは、普段、生活の中で市民のみなさんが感じる地域の課題やその解決方法、地域をよりよくする取組についてアイデアを出し合う場を設けています。

また事業提案に向けた申請書の書き方、資料作成のサポート等も行っていますので、ご活用ください。

みんなで地域づくりセンター（市文化センター内）  
〒284-0001 四街道市大目 396  
TEL：043-304-7065 FAX：043-424-8920  
MAIL：info@innade.org  
火曜—金曜 9:00—20:00 土曜 9:00—17:00

## 8 応募手順・方法

### ①書類の提出（募集期間内）

次の書類を作成の上、政策推進課に提出してください。

- ①みんなで地域づくり事業提案書（実施要綱様式第1号）
- ②みんなで地域づくり事業計画書（実施要綱様式第2号）
- ③みんなで地域づくり事業収支予算書（実施要綱様式第3号）
- ④提案団体概要書（実施要綱第4号）
- ⑤団体の規約、会則等
- ⑥団体名簿
- ⑦団体の活動内容がわかるもの（パンフレット等）
- ⑧対象となる施設等の位置図、図面等 \*拠点づくり部門のみ

\*原則として、①募集期間内に提出された事業内容や予算額等は、これより先の手順において団体都合で変更することはできませんので、この段階で事業の基礎は固めた状態で書類を提出してください。また、政策推進課において内容を確認のうえ、団体に書類の修正や再提出をお願いする場合があります

### ②担当課との意見交換等

担当課との意見交換等を行い、事業を実施する上での課題等を共有します。

\*意見交換期間中に政策推進課より担当課宛に意見照会を行い、その結果を各団体にお知らせしますが、各団体でも必要に応じて個別に打ち合わせ等行ってください

### ③書類の最終提出

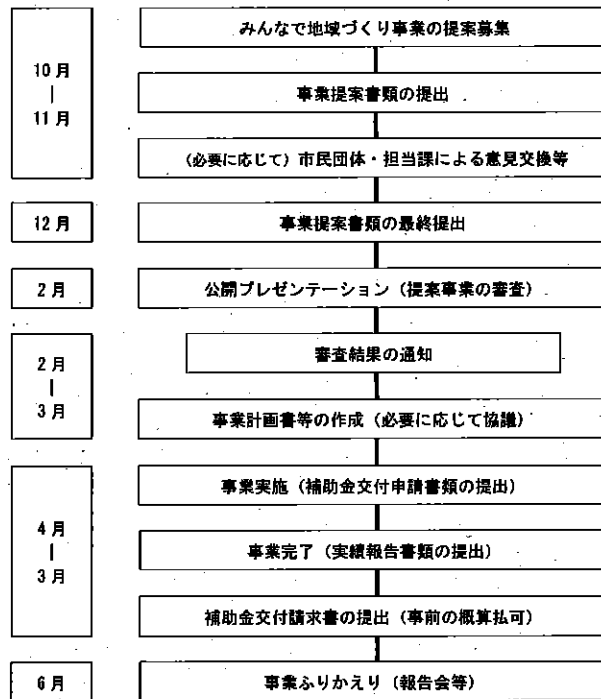
担当課との意見交換等を経て、提案書類を必要に応じて修正した上で、政策推進課に提出してください。

\*必ず①募集期間内に提出した後、②の手順を経て、③最終提出してください

### ④書類の配布場所

①政策推進課 ②みんなで地域づくりセンター ③市ホームページ「コラボ四街道」で検索。

## 12 事業の流れ



## 13 おわりに

コラボ四街道は、市民団体が、地域にある課題や魅力ある地域をつかっていくための事業を市や様々な団体と協力しながら進めていく制度ですが、事業終了後も継続はもちろん、充実した事業に発展させていくための連携や協力を絶えず行っていくことが大切です。

### ②事業の実施

事業の実施は4月1日以降となります。事業に係る経費の支出も、これ以降に行うようにしてください。事業を実施する上では、担当課と協力し、必要に応じて、協議、調整を行ってください。また政策推進課やみんなで地域づくりセンターにおいても事業実施のサポートを行いますので、ご相談ください。

### ③事業の変更等

事業内容に変更が生じた場合、軽微な変更を除いて、みんなで地域づくり事業補助金変更(中止・廃止)承認申請書(補助金交付要綱様式第3号)の提出が必要となります。また天災、団体の都合などにより、事業の実施ができない場合なども同様に提出することとなりますので、ご相談ください。

#### [軽微な変更の例]

- ・事業内容の目的の達成に支障のない範囲での消耗品等の購入の増減
- ・予定開催日と同月内での日程変更(参加者がより見込める等)
- ・団体構成員の変更等

\*上記の例にあっても、事業内容、全体への影響などの総合的な判断により、軽微な変更と認められない場合もあるので、早めにご相談ください

### ④事業の完了

事業が完了したときは、完了一か月後か翌年度の4月10日のいずれか早い日までに次の書類を作成して、政策推進課に直接持参して提出してください。

- ①みんなで地域づくり事業補助金実績報告書(補助金交付要綱様式第4号)
- ②事業報告書(コラボ四街道まとめ)
- ③収支決算書
- ④経費の支出がわかる書類(領収書など)
- ⑤印刷物や任意書式の報告書など必要と認められる書類

※②、③、⑤の書類は、委員会での資料として配布したり、市ホームページ上で公開する場合があります。(個人情報が入っている場合は、その部分を伏せた形で公表します)

### ⑤補助金の確定

市は、上記書類を審査し、補助金の額を確定し、市民団体へ通知します。審査の結果、補助金の減額を求める場合があります。

## 11 事業のふりかえり

市民団体は、事業をふりかえるために「コラボ四街道まとめ」を作成して、政策推進課に提出します。提出された書類をもとに、事業報告会などにより、みんなで地域づくり推進委員会に意見を聴き、次年度以降の事業に反映し、事業の質の向上などを図っていきます。



[記載例]

提出時点での市長名を記載  
 四街道市長 ○○ ○○ 様

年 月 日  
 職名（代表、実行委員長等）も記載  
 例年、代表者の職名の記入漏れが多いため注意してください

名称  
 提案団体 所在地  
 代表者 代表 ○○ ○○

事業名だけで事業内容、目的が伝わる名称に

みんなで地域づくり事業提案書

事業の概要を100字程度で記載

四街道市みんなで地域づくり事業提案制度実施要綱第7条の規定により、次のとおり提案します。

①・2・3 年度目

|        |                                                                                                                                                                           |                       |            |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------|
| 事業名    | ……でイキイキ……活性化事業                                                                                                                                                            |                       |            |
| 事業概要   | ……を対象に……を実施して、……広く……するための事業をするもの                                                                                                                                          |                       |            |
| 事業分野   | 保健・医療・福祉                                                                                                                                                                  | <input type="radio"/> | 社会教育       |
|        | まちづくり                                                                                                                                                                     |                       | 観光         |
|        | 農村等振興                                                                                                                                                                     |                       | 文化・芸術・スポーツ |
|        | 環境                                                                                                                                                                        |                       | 災害救援       |
|        | 地域安全                                                                                                                                                                      |                       | 人権擁護・平和    |
|        | 国際協力                                                                                                                                                                      |                       | 男女共同参画     |
|        | ◎ 子どもの健全育成                                                                                                                                                                |                       | 情報化社会      |
|        | 科学技術                                                                                                                                                                      |                       | 経済活動       |
|        | 職業能力開発・雇用機会拡充                                                                                                                                                             |                       | 消費者保護      |
| 市民活動支援 |                                                                                                                                                                           | その他( )                |            |
| 事業部門   | 拠点づくり部門                                                                                                                                                                   | <input type="radio"/> | 地域づくり部門    |
|        | アンダー19部門                                                                                                                                                                  |                       |            |
| 市の担当課  | ○○○課 △△△課                                                                                                                                                                 |                       |            |
| 添付書類   | (1) みんなで地域づくり事業計画書(様式第2号)<br>(2) みんなで地域づくり事業収支………連携や協力を得たい市の担当課を記載<br>(3) 提案団体概要書(様式第4号)<br>(4) 団体の規約、会則等の写し<br>(5) 団体の構成員の名簿<br>(6) 団体の活動内容がわかるもの(パンフレット等)<br>(7) その他( ) |                       |            |

備考

- 「事業概要」は、簡潔に記載してください。
- 「事業分野」は、該当する分野に○印を付けるものとし、該当する分野が複数ある場合には、主なものに◎印を付け、その他のものに○印を付けてください。
- 「事業部門」は、いずれかの部門に○印を付けてください。

関連資料

【記載例】

みんなで地域づくり事業収支予算書

|     |       |
|-----|-------|
| 事業名 | 〇〇〇事業 |
|-----|-------|

【収入】 (単位: 円)

| 項目   | 予算額     | 具体的な内容・積算                |
|------|---------|--------------------------|
| 市補助金 | 300,000 |                          |
| 自己資金 | 55,000  | 会費 20,000円 講座参加費 25,000円 |
| 寄付金  | 20,000  | 一口5,000円×4件              |
| 収入合計 | 375,000 | A(=D)                    |

対象経費(B)の補助割合(対象部門毎の上限)以内で千円未満切り捨てになっているか確認

事業に関する収入を漏れなく記載

【支出】 (単位: 円)

| 項目    | 予算額      | 具体的な内容・積算                                                                                |
|-------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象経費  | 報償費      | 80,000<br>講師謝礼金 50,000円<br>有償ボランティア費 30,000円(1,000円×10人×3回)                              |
|       | 消耗品費     | 45,000<br>コピー用紙 10,000円(1,000円×10個)<br>文具類(筆記用具、マジック等) 15,000円<br>インク 20,000円(4,000円×5個) |
|       | 印刷製本費    | 80,000<br>イベントチラシ 50,000円(50円×10,000枚)<br>講座チラシ 30,000円(50円×6,000枚)                      |
|       | 通信運搬費    | 40,000<br>イベントチラシ郵送料 40,000円(80円×5,000円)                                                 |
|       | 使用料及び賃借料 | 90,000<br>イベント会場使用料 60,000円(30,000円×2日)<br>テント賃借料 30,000円(15,000円×2日)                    |
| 小計    | 335,000  | B 積算根拠(単価、数量)を記載                                                                         |
| 対象外経費 | 報償費      | 10,000<br>イベント協力者菓子折り                                                                    |
|       | 食糧費      | 20,000<br>イベント打合せ食糧費                                                                     |
|       | 通信運搬費    | 10,000<br>団体電話使用料                                                                        |
|       | 小計       | 40,000                                                                                   |
| 支出合計  | 375,000  | D(B+C)                                                                                   |

備考

- 見積書等、積算の根拠となる書類がある場合は、当該書類を添付してください。
- 提案時における事業費及び市補助金額は、担当課との意見交換等を経て変更される場合があります。

【記載例】

みんなで地域づくり事業計画書

|         |                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                 |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名     | 事業を行うきっかけや課題認識、背景を記載<br>またどのように市民の役に立つか、どのような地域を目指すか                                                                                                                                                              |                                                                                                                 |
| 目的・必要性  | 以前より、四街道市では……という課題があり、……で対応している現状がありました。<br>そのような中で……を実施することで……の充実が図れ、市民にとって……な地域となります。<br>当団体がこれまで実施してきた……のノウハウを生かし、……することでこのような地域とすることが本事業における目的です。                                                             |                                                                                                                 |
| 内容      | 1. ……の開催<br>[内容]……を対象に、……を講師に……を開催<br>[会場]……公民館<br>2. ……の実施<br>[内容]……を対象に、……を制作する……を実施<br>[会場]……センター<br>具体的な事業内容、対象者、会場、回数など事業の内容を詳細に記載                                                                           |                                                                                                                 |
| スケジュール  | 時期                                                                                                                                                                                                                | 具体的な取組                                                                                                          |
|         | 5月                                                                                                                                                                                                                | 広報活動(チラシ・ポスター配布)、参加者募集                                                                                          |
|         | 7月                                                                                                                                                                                                                | リハーサル                                                                                                           |
| 担当課     | (担当課)                                                                                                                                                                                                             | 〇〇〇課、△△△課                                                                                                       |
|         | (役割)                                                                                                                                                                                                              | {〇〇〇課} ……指導員の紹介<br>{△△△課} ……に関するアドバイス<br>会場使用、広報協力、アドバイスなど、事業実施にあたって行政の担当課と連携や協力をしたい内容について記載<br>市政だよりへのイベント情報掲載 |
| 他団体との連携 | ……大学(講師の紹介)<br>NPO法人……(技術的支援)<br>……の会(広報協力)<br>他機関などで、事業実施にあたって協力を得られている(予定含む)内容について記載                                                                                                                            |                                                                                                                 |
| 期待される成果 | (1) ……の開催により多くの……に関心のある市民が集まることで、……意識を向上させるとともに、……他地域へ広がっていくことが期待できる<br>参加者数: 〇〇人<br>(2) ……の実施により得られたアンケート結果を踏まえて、……をまとめ、今後の……活動に活かしていくことが期待できる<br>アンケートサンプル数: 〇〇件<br>事業を実施することで得られる市民(地域)への効果や波及効果などについて数値を交えて記載 |                                                                                                                 |

事業分野一覧

|                                                |                                                  |
|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1 保健・医療・福祉の推進                                  | 2 社会教育の推進                                        |
| 高齢者支援、障害者支援、生活支援、点字・手話教育活動、公衆衛生の啓発、薬品の情報提供     | 生涯学習活動、読み書き教室、不登校児や引きこもり青少年の学びの場を提供する活動          |
| 3 まちづくりの推進                                     | 4 観光の振興                                          |
| まちおこし、地域活性化、地域コミュニティの活性化、地域情報誌の発行、バリアフリーの推進    | 地域ブランドづくり、観光商品開発                                 |
| 5 農村等の振興                                       | 6 学術・文化・芸術・スポーツの振興                               |
| 過疎防止活動、就農支援、地産地消                               | 伝統文化の振興・継承、芸術家への支援、演劇鑑賞会、地域楽団、地域劇団、スポーツ大会やスポーツ教室 |
| 7 環境の保全                                        | 8 災害救援活動                                         |
| 野生動物や野鳥の保護、森林保全、環境セミナーなど自然・環境教育活動、公害防止活動、ペット保護 | 災害の救援活動、被災者の生活支援、救援ネットワークづくり、災害予防の普及活動           |
| 9 地域安全活動                                       | 10 人権擁護・平和の推進                                    |
| 防犯パトロール、犯罪・事故の予防、交通安全活動、交通マナー向上活動、登下校時の見守り活動   | 外国人、障害者、女性、子どもなどの人権啓発、核兵器廃絶などの平和推進活動、いじめ防止活動     |
| 11 国際協力活動                                      | 12 男女共同参画の促進                                     |
| 留学生の支援活動、帰国者の援助、国際交流活動、海外との文化交流                | 女性の自立支援、セクハラ防止活動、雇用の充実を図る活動、女性が安心して働ける環境整備を促す活動  |
| 13 子どもの健全育成                                    | 14 情報化社会の発展                                      |
| 子育て支援、子ども会活動、児童保育、学童保育、非行防止活動、いじめ相談、児童相談       | パソコン教室などインターネットを利用した学習システムの普及活動、情報通信ネットワークづくり    |
| 15 科学技術の振興                                     | 16 経済活動の活性化                                      |
| 科学技術とまちづくりなどの異分野をつなぐ活動、科学教育教室など科学や技術への関心を高める活動 | 地域産業の振興など、地域経済活性化の促進を図る活動、起業支援、コミュニティビジネス支援      |
| 17 職業能力開発・雇用機会の拡充                              | 18 消費者保護活動                                       |
| 就労情報の提供・就労支援、雇用創出を図る活動、高齢者への雇用支援、障害者への職業訓練活動   | 商品知識の普及を図る活動、詐欺被害にあわないための消費者教育活動、消費者相談           |
| 19 市民活動支援                                      | 20 その他                                           |
| 上記の活動を行う団体に対する助言や支援、団体間の連絡・交流を図る活動、中間支援活動      | その他、地域づくりに関する活動                                  |

[記載例]

提案団体概要書

|        |                                                |                                    |
|--------|------------------------------------------------|------------------------------------|
| 団体名    |                                                |                                    |
| 所在地等   | (〒 - )                                         | 事務所がある場合は所在地、個人宅の場合は住所を記載          |
|        | 電話                                             |                                    |
|        | ファクシミリ                                         |                                    |
|        | 電子メール                                          | HPやFacebookなどがある場合は記載              |
| 代表者    | ホームページ                                         |                                    |
|        | 役職                                             |                                    |
| 代表者    | ふりがな氏名                                         |                                    |
|        | 住所                                             | (〒 - )                             |
| 連絡責任者  | ふりがな氏名                                         | 郵送の送付先、連絡窓口の責任者を記載(代表者の場合は「同上」と記載) |
|        | 住所                                             | (〒 - )                             |
|        | 電話                                             |                                    |
|        | 電子メール                                          |                                    |
| 設立年    | 年会費                                            | 円                                  |
| 構成員数   | 人(うち四街道市民 人)                                   |                                    |
| 主な活動地域 | (市内)                                           |                                    |
|        | (市外)                                           |                                    |
| 活動目的   | 団体の活動(事業)目的を記載(本制度活用のために立ち上げた場合は、その目的を記載)      |                                    |
| 主な活動実績 | 設立から現在までの団体の主な活動実績について記載(当市の補助金、助成金等の交付実績等を含む) |                                    |
| その他    | (PR等)                                          | 団体活動の補足事項、PR事項などあれば記載              |

[Q & A]

- Q. 構成員は市内在住でなければいけませんか。  
A. 構成員が市内在住である必要はありません。ただし、団体の主な活動場所が市内であることが必要です。また、本制度に申請する事業に関しては市内で実施する必要があります。団体が、本制度を活用した事業とは別の事業において市外での活動を行うのは問題ありません。
- Q. 複数の部門で事業を提案することは可能ですか。  
A. 拠点づくり部門とその他の部門は同時に提案することが可能です。  
アンダー19部門と地域づくり部門は同時に提案することはできません。
- Q. 担当課は必ず設定しなければいけませんか。  
A. 必須ではありません。必要に応じて担当課を設定してください。
- Q. 国、県及びそれらの外郭団体等から助成を受けている事業は本制度の対象にならないというのですが、既に助成を受けている団体で、現在助成を受けている事業とは異なる事業での申請は可能ですか。  
A. 団体として他の制度で助成を受けていたとしても、本制度に申請する事業がそれと異なっていれば問題ありません。例えば、ソフト事業で他の制度での助成を受けた状態で、ハード事業を本制度の拠点づくり部門で申請することや、現在助成を受けているものと趣旨の異なる事業で本制度に申請すること等が可能です。  
市の他の制度で助成を受けている場合も同様です。
- Q. 過去に事業が採択されたことがある団体で、別の事業で新たに申請することは可能ですか。  
A. 過去に採択された事業と趣旨の異なる事業であることが明白な場合には、別の事業で一年度目から新規事業として申請することが可能です。不安のある場合は、ご相談ください。
- Q. 複数年度に渡る事業で補助金を申請したい場合、申請は年度ごとにする必要がありますか。  
A. 同じ事業で最大で三年度採択されるまで申請が可能です。申請の手続き、審査、補助金の交付は年度ごとに行います。そのため、過去に採択されたことのある事業でも、次の年度の申請時に必ずしも採択になるとは限りません。事業の実績を踏まえて、課題、問題点を検証し、改めて計画をつくり、次年度以降の提案につなげてください。
- Q. 一年度目、もしくは二年度目まで事業が採択され、本制度を活用して活動を行ったのち、数年後に同様の事業を再度提案することは可能ですか。  
A. 可能です。以前提案したものと同様の事業内容である場合は、年度が引き継がれ、補助金額は次の年度のものが適用されます。例えば、一年度のみ本制度の補助金を活用しての活動を行い、数年間自主財源で活動を行った後に同様の事業で申請を行う場合は、補助金の上限額は二年度目のものが適用されます。

## みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）提案事業一覧（令和3年度実施）

|   | 団体名<br>(代表者氏名)                                         | 事業名                                      | 事業概要                                                                                                                                             | 新規<br>継続 |   | 事業<br>部門 |   | 要望額<br>(事業総額)          | 担当課                             |
|---|--------------------------------------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---|----------|---|------------------------|---------------------------------|
|   |                                                        |                                          |                                                                                                                                                  | 新        | 継 | 抛        | 地 |                        |                                 |
| 1 | 子ども商店街 実行委員会<br>(千脇 みゆき)                               | 子ども商店街 2021                              | 中学生から大学生の青少年が企画・運営し、商店のみなさんから仕入れなどの協力を得ながら交流する他、小学生とまちや商店の仕組みを学ぶ。産業まつりと同日程で「子ども商店街」を開催し、産業の振興にも貢献する。                                             |          | ② |          | ○ | 201,000<br>(449,000)   | 産業振興課<br>スポーツ青少年課               |
| 2 | 食を通して四街道を元気にする会<br>(島田 佳代)                             | 地産地消で美味しいものめぐり                           | 地場生産物の生産場所や販売所、市内レストラン、福祉関係や市内地域活動団体の食堂やレストランを網羅した四街道市内の「ぐるめまっぷ」更新版を作成し、四街道の飲食店を案内する。                                                            |          | ② |          | ○ | 400,000<br>(456,000)   | 産業振興課                           |
| 3 | 里 kara<br>(木村 慎太郎)                                     | Y・Y・Countryside<br>～自然・焚火・音楽のある里山で多世代交流～ | Y・Y・NOWSON で定期的に里山一般開放イベントを開催し、里山の魅力を広く発信するとともに、住民同士の交流を活性化させる。また、里山整備イベントを開催することにより、里山の保全も行う。                                                   | ○        |   |          | ○ | 452,000<br>(670,500)   |                                 |
| 4 | みんなでつつみこむあたたか地域づくりプロジェクト<br>あたたかおひさんぼ実行委員会<br>(大和久 智子) | あたたかおひさんぼマップづくりを通じたつながりプロジェクト            | 平成25年度作製した『よつかいどうおひさんぼマップ』を元に、誰でも気軽に参加できるおひさんぼ会を開催。おひさんぼ会参加者と共におひさんぼマップを作製することで、人と人、人と場が「つながる」きっかけを作る。子どもと親を取り巻く環境をよりよくし、誰もが安心して暮らせるあたたかな地域を目指す。 | ○        |   |          | ○ | 429,000<br>(502,000)   | 子育て支援課<br>障害者支援課                |
| 5 | よつかいどう野外保育さとのたね<br>(岸本 梓)                              | 里山子育てと温かな繋がりを地域に届けるプロジェクト                | 自然と人、自然と子育てを結びミニパンフレット・冊子を作成し、オープンイベント・里山を活用した世代間交流を目的としたワークショップの中で活用していく。四街道の里山と自然の中での子育ての魅力、人と人との温かい繋がりが多様性の尊重を広く地域に伝えていく。                     | ○        |   |          | ○ | 500,000<br>(560,500)   | 社会福祉課<br>子育て支援課<br>保育課<br>社会教育課 |
| 6 | ひみつのおしゃれ工房<br>(佐々木 和枝)                                 | ひみつのおしゃれ工房リメイクファブリックスタートアップ事業            | 外で働く事が出来ない事情のある方々に内職をお願いして古着をアップサイクルし、パッチワークなどの生地にしたリメイクファブリックを事業者などに広めていく。                                                                      | ○        |   |          | ○ | 500,000<br>(560,000)   |                                 |
| 7 | 四街道みらい会<br>(長谷川 晃一)                                    | 四街道市旭ヶ丘子ども食堂開催による未来創造事業                  | 旭ヶ丘・みそら地区に居住する小学生と、その家族を対象として安価に食を提供することによって、子育て支援、食育、地域活性化の場、孤立孤食の減少の改善を目的とする。また、プロの料理人が調理に携わり、飲食店が主催することで食の魅力を感じてもらうことも目的とする。                  | ○        |   |          | ○ | 500,000<br>(1,128,000) | 産業振興課                           |
| 8 | THE FOURTH AVENUE BIG SOUNDS ORCHESTRA<br>(児玉好廣)       | 五感でイキイキ、ジャズと阿波踊りで活性化事業                   | 子供、大人、高齢者、障害者など対場を問わず広く市民を対象に音楽で元気を与え、更にステージを通して阿波踊り普及のきっかけづくりをする。                                                                               | ○        |   |          | ○ | 400,000<br>(600,000)   | 自治振興課                           |

|    | 団体名<br>(代表者氏名)        | 事業名              | 事業概要                                                                                                                                                                              | 新規<br>継続 |   | 事業<br>部門 |   |    | 要望額<br>(事業総額)          | 担当課                          |
|----|-----------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---|----------|---|----|------------------------|------------------------------|
|    |                       |                  |                                                                                                                                                                                   | 新        | 継 | 拠        | 地 | 19 |                        |                              |
| 9  | ワクワク音楽の贈りもの<br>(沖 雅子) | ワクワク子どもへの音楽プレゼント | コロナ禍、色々な行事が中止になり、生演奏も難しく、音楽を楽しむ機会も減ったことから、幼稚園生、保育園生、小学生に市内育ちのプロ演奏の録画を作り、DVD をプレゼントする。                                                                                             | ○        |   |          | ○ |    | 348,000<br>(397,680)   | 自治振興課<br>保育課<br>指導課<br>社会教育課 |
| 10 | 鳳倶楽部<br>(柴田 昭)        | 市民活動ワンストップサービス   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家や市民活動家を対象に PR 動画を作成配信し地域経済の活性化を図る。</li> <li>・地域の問題点、課題を提起し他者とコラボレーションする事で改善できるようにする。</li> <li>・既存店舗や地域住民の PR 活動を手伝い地域貢献を図る。</li> </ul> | ○        |   |          | ○ |    | 500,000<br>(1,391,106) | 政策推進課                        |
|    |                       |                  |                                                                                                                                                                                   |          |   |          |   |    | 地: 4,230,000<br>拠: 0   |                              |

【新規・継続】新…新規事業、継…継続事業 (○数字は本制度への申請回数) / 【事業部門】拠…拠点づくり部門、地…地域づくり部門、19…アンダー19部門

## コラボ四街道選考方針

### 1 選考方法

補助対象団体は、提出された書類及びプレゼンテーションによって選考します。  
プレゼンテーションは関係者のみ観覧可とし、審査結果は公表します（審査過程は非公開）。  
※ただし、審査結果の公表は別日に行う場合があります。

#### (1) 書類審査

- ①提出された書類及び添付書類に基づき審査します。
- ②書類審査による質問、意見等は、原則としてプレゼンテーションで確認します。

#### (2) プレゼンテーションの実施方法

- ①説明に当たって使用する資料及び手法（模造紙、パワーポイント等）は自由とします。ただし、模造紙を使用する場合は、原則として2枚までとします。
- ②各団体の説明時間は7分、質疑応答時間は7分とします。
- ③質問については、下記「2 審査基準」に記載の事項、提出書類の記載内容及び説明内容について不明な点、その他委員において質問したい事項について行います。

#### (3) 審査

- ①各委員は、下記「2 審査基準」に基づき、別紙「みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）評価票」（以下「評価票」という。）により審査を行います。ただし、提案団体に属するまたは密接に関わりのある委員がいる場合は、当該団体の審査から除外します。
- ②採点は、合計点25点とする。各審査項目の最高点を5点、最低点を1点とします。
- ③評価票は、委員の審査が終了後、事務局で取りまとめ集計します。

#### (4) 選考

- ①各委員が採点した点数の平均点を委員会の点数とし、予算の範囲内で平均点が高い団体から順次、補助対象団体を選考します。また減額や削除することが望ましい予算について査定を行い、補助金額を決定します。
- ②上記の場合においても、平均点が15点に満たない場合は選考しないものとします。

**審査基準【委員確認事項】**

|   | 審査項目                 | 審査の視点                                                                                                                            | 配点 |
|---|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ① | 市民ニーズ・地域課題の認識・事業の必要性 | 市民や地域のニーズ（地域特性、四街道らしさ等）、地域課題等を的確に捉えているか。また本制度で事業を実施する必要があるか。（継続事業については現状把握、課題認識等が的確にされているか。）<br><b>【計画書[目的・必要性]】</b>             | 5  |
| ② | 企画力・企画の適性            | 地域課題の解決や地域づくりを効果的、効率的に進めていくための具体的かつ現実的な企画になっているか。（行政等との連携、他団体との協力等の明確性、妥当性、事業効果等含む）<br><b>【計画書[内容]・[スケジュール]・[担当課]・[他団体との連携]】</b> | 5  |
| ③ | 実現可能性・継続性            | 事業を実施する能力（専門知識、技術、人材等）があるか。<br>また今後、事業の継続性（資金調達、体制等）が見込めるか。<br><b>【提案団体概要書、名簿、収支予算書、計画書[内容]】</b>                                 | 5  |
| ④ | 発展性・波及性              | 事業の発展や地域に波及することが期待できるか。<br>また多様な市民等の参加・参画が見込めるか。<br><b>【計画書[内容]・[他団体との連携]】</b>                                                   | 5  |
| ⑤ | 成果・費用対効果             | 事業を実施することにより期待できる成果は明確かつ妥当であるか。（数量、人数、影響等）<br>またその成果（事業内容、規模等含む）に見合った妥当な経費の見積もりがされているか。<br><b>【計画書[期待される成果]、収支予算書、計画書[内容]】</b>   | 5  |

**<採点基準>**

|    |                                       |
|----|---------------------------------------|
| 5点 | とても評価できる[基準を十分に満たし、妥当性、適格性が大いに認められる]  |
| 4点 | 評価できる                                 |
| 3点 | 基準[事業採択相当]                            |
| 2点 | やや評価できない                              |
| 1点 | 全く評価できない[基準を全く満たしておらず、妥当性、適格性が認められない] |



## コラボ四街道プレゼンテーションタイムスケジュール

令和 3 年 2 月 15 日 (月)

市文化センター203 号室

(説明時間 7 分→質疑応答 7 分→交代 2 分)

| 時間          | 内容                                                    |
|-------------|-------------------------------------------------------|
| 9:45～9:55   | プレゼンテーション事前説明 (控室) * 終了後 プレゼン会場入室                     |
| 10:00～      | プレゼンテーション開始                                           |
| 10:05～10:19 | (1) 子ども商店街 実行委員会(提案書類①)                               |
| 10:21～10:35 | (2) 食を通して四街道を元気にする会(提案書類②)                            |
| 10:37～10:51 | (3) 里 kara(提案書類③)                                     |
| 10:53～11:07 | (4) みんなでつつみこむあたたか地域づくりプロジェクト<br>あたたかおひさんぽ実行委員会(提案書類④) |
| 11:09～11:23 | (5) よつかいどう野外保育さとのたね(提案書類⑤)                            |
| 11:25～11:39 | (6) ひみつのおしゃれ工房(提案書類⑥)                                 |
| 11:41～11:55 | (7) 四街道みらい会(提案書類⑦)                                    |
| 11:55～13:00 | 休憩                                                    |
| 12:45～12:55 | プレゼンテーション事前説明 (控室) * 終了後プレゼン会場入室                      |
| 13:00～13:14 | (8) THE FOURTH AVENUE BIG SOUNDS ORCHESTRA(提案書類⑧)     |
| 13:16～13:30 | (9) ワクワク音楽の贈りもの(提案書類⑨)                                |
| 13:32～13:46 | (10) 鳳倶楽部(提案書類⑩)                                      |
| 13:46～14:15 | 休憩、採点・集計                                              |
| 14:15～15:15 | 審議 (非公開)                                              |

- (注)
- ・進行状況によりプレゼンテーションの時間が早まる場合があります。特定の団体の傍聴を希望される方は余裕を持ってお早めにお越しください。
  - ・質疑応答は限られた時間で行いますので簡潔にお答えください。
  - ・審議状況により結果を後日公表する場合があります。